

熊本大学附属図書館 東光原 NewsLetter No.57 (2025.10)

図書館公認キャラクター

くまぼん



目次

- ・貴重資料展について P.2
- ・貴重資料デジタルアーカイブ公開 P.2
- ・学生選書員について P.3
- ・学生希望図書について P.3
- ・オープンキャンパス 開催しました P.3
- ・東光原文学賞 締切迫る P.4
- ・電子ブックPR動画について P.4
- ・図書館のできごと P.4

第40回熊本大学附属図書館貴重資料展

『永青文庫細川家文書 国重要文化財指定記念展』

令和7年11月2日（日）～11月4日（火）

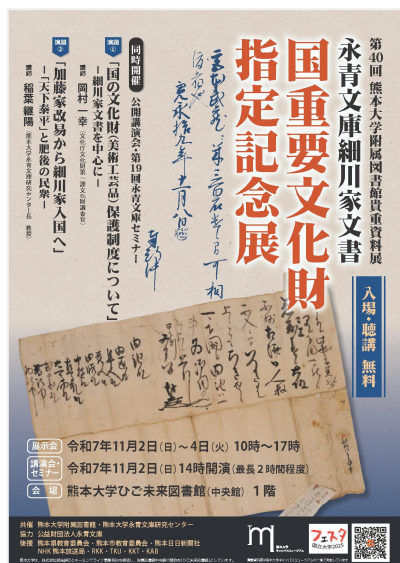
開催！

→ 詳しくは本誌 P.2 をチェック！

第40回 熊本大学附属図書館貴重資料展 『永青文庫細川家文書 国重要文化財指定記念展』

11月2日（日）～11月4日（火）10:00～17:00

ひご未来図書館(中央館)1階 古文書閲覧室およびラーニングcommons



本年、公益財団法人永青文庫が所有し熊本大学附属図書館に寄託している貴重資料のうち、古文書9,346点が国の重要文化財「細川家文書」に追加指定された。

指定品の大半を占めるのは、戦国武将として著名な細川忠興や、江戸初期の明君と評価される細川忠利らの発給文書群、裁可文書群、家臣たちが提出した血判起請文書群、忠利らの相談役であった沢庵和尚の書状群などで、江戸時代初期の古文書群としては質・量ともに類例をみない。さらに、家臣らから藩主への意見書・献策書群、姫君たちの消息群、歴代当主の甲冑の預り証文書群など、江戸時代中期以降の貴重な文書も多数含まれる。選りすぐりの重要文化財30点余を存分にお楽しみいただきたい。

（永青文庫研究センター長 稲葉継陽）

※詳細については、熊本大学附属図書館HPをご覧ください。

<https://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/news/6986>



〈同時開催〉「公開講演会/第19回永青文庫セミナー」

11月2日（日）14時開演(最長2時間程度) ひご未来図書館(中央館)1階ラーニングcommons

演題① 「国の文化財（美術工芸品）保護制度についてー細川家文書を中心にー」
講師：岡村 一幸（文化庁文化財第一課文化財調査官）

演題② 「加藤家改易から細川家入国へー「天下泰平」と肥後の民衆ー」
講師：稲葉 継陽（熊本大学永青文庫研究センター長・教授）

熊本大学附属図書館貴重資料デジタルアーカイブ 公開中！

令和7年4月28日、附属図書館は『熊本大学附属図書館貴重資料デジタルアーカイブ』を公開しました。

附属図書館では、貴重資料公開のグローバル化を目指し、永青文庫研究センターと連携のもと、国際規格対応のデジタルアーカイブ構築を令和5年度より計画し、このたびシステムを公開しました。

第一弾の公開資料「松井家文書」は、熊本藩第一家老かつ八代城主であった松井家に伝来した藩政資料群です。

その中には、令和5年度の貴重資料展にて限定公開された"薩摩の密偵"を示す新史料も含まれます。

今後も継続的に資料を追加し充実させていきますので、ぜひご注目ください！

＊当アーカイブの一部は、令和5年度に実施したクラウドファンディングによるご支援を受けて作成・構築しました。ご支援いただきました皆様に篤く御礼申し上げます。



こちらから
ご覧いただけます▼





学生選書員

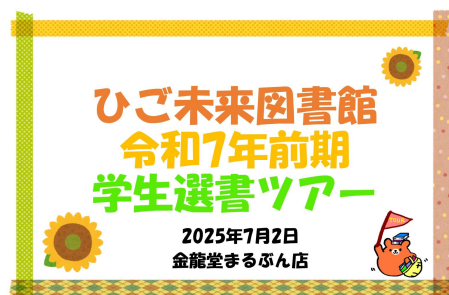
2025年度 第1回学生選書員は13名が参加しました。
そのうち5名は「学生選書ツアー」で、
実際に書店へ足を運んで選書を行いました。
残りの8名は「Web選書」にて選書を行いました。

学生選書参加者の声

- ・自身の視点だけではなく、「大学におく」という視点で本を見るのは新鮮で、じっくりさまざまなコーナーの本を見ることができた。
- ・図書館の本を自分で選べて面白かった。
- ・自分ではなかなか買えない本を選ぶことができて楽しかった。



展示の様子



金龍堂まるぶん店（熊本市中央区上通町）

学生選書員が選んだ本は、
ひご未来図書館(中央館)1階ロビーに
10月17日から11月末頃まで展示予定です。
さまざまな分野の本が、選書員自らが作成した
紹介POP付きで展示されています。
展示されている図書は貸出可能ですので、
ぜひお立ち寄りください！

学生希望図書



図書館に置いてほしい本を随時リクエストできます。

【図書館HP】→「MyLibraryメニュー」→
「学生希望図書購入依頼」→「新規依頼」から
購入希望図書の内容を入力して
「入力内容確認」→「入力内容確定」



オープンキャンパス開催！ 来館者数3,102人！（延べ人数）



8月2日(土)黒髪キャンパスにてオープンキャンパスが開催されました。
猛暑の中、県内外からも多数来館され、ついにコロナ前の来館者数に戻ることができました。
「図書館ラリー」など、さまざまな企画を楽しんでいただき、参加者の皆さんには大学図書館
の雰囲気を存分に味わっていただけたと思います。



第18回熊本大学『東光原文学賞』 〆切迫る！



- 応募対象：熊本大学学生（大学院生、留学生を含む）
- ジャンル：小説（日本語）※未発表の作品かつ1人1篇の応募とします。
- 字数：400字詰め原稿用紙30～60枚程度<12,000字～24,000字程度>
- 応募締切：2025年11月6日(木) 17時 必着
- 受賞作品の公開：『東光原文学賞作品集』冊子発行(3月予定)
及び附属図書館HPで公開

★詳細は、附属図書館HP「募集要項」をご覧ください。

<https://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/news/6982>

※ChatGPT等のAIに執筆・校閲させた小説は選考外

★結果発表/表彰式
2026年1月16日(金)
10:30～

<問合せ先> 熊本大学附属図書館
〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
Tel : 096-342-2212
E-mail : gp-tosho-bungaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

- 学長賞 1篇 賞状及び副賞
(図書カード10万円分)
- 附属図書館長賞 3篇 賞状及び副賞
(図書カード3万円分)

『東光原文学賞』とは・・・

東光原文学賞は、熊大生の言語力向上と創造性豊かな学生の育成、さらに地域社会における文学・文化活動の中核となる人材輩出等を目的に平成20年度にスタートしました。旧制第五高等学校時代、現在のひご未来図書館(中央館)の敷地一帯が“東光原(とうこうげん)”と称する運動場であったことが名前の由来です。

過去の受賞作品は図書館HPで読むことができ、冊子も図書館内で無料配布しています。

たくさんの応募をお待ちしています！



お知らせ



現在、中央館ラーニングcommonsでは、電子ブックPR動画を放映しています。熊本大学だけでなく、熊本県立図書館の電子ブックの利用方法をショート動画で解説しています。

図書館のできごと (2025.7～9)

期 間	事 項
4/24～8/8	謎解きイベント「くまぼんからの挑戦状」開催（ひご未来図書館(中央館)）
7/7～	第18回「熊本大学東光原文学賞」作品募集（締切：11/6(木)17時）
7/15～7/25	図書館TAによる学生向け広報イベント「くまぼんとの撮影会」開催（ひご未来図書館(中央館)）
7/24～7/29	第2回附属図書館運営委員会（書面会議）
7/14～8/25	ロビー展示「七色の図書」開催（ひご未来図書館(中央館)、医学系分館）
8/2	オープンキャンパス（ひご未来図書館(中央館)）
8/25～10/17	ロビー展示「見て楽しいビジュアルブック」開催（ひご未来図書館(中央館)）
9/4～9/12	第2回附属図書館医学系分館運営委員会（書面会議）
9/4～9/12	第2回附属図書館薬学部分館運営委員会（書面会議）
9/17	教育学部附属中学校のひご未来図書館(中央館)施設見学
9/17～9/24	第3回附属図書館運営委員会（書面会議）